

格安ツアーが買い物をしない客を歓迎しないのは当然だ。観光放棄は食事放棄でもある。建前は途中離団出来ないのであるが、メシだけ食われて銭を使わない客は最悪だ。一応、客側から体調不良を理由として離団を申し入れているので、ガイドのメンツも立つ。幸い私以外は「中国素人の良いお客さん」ばかりのようで、中国通はいない方がよい。ガイドも怪しい腰痛には気づいているかも知れないが、両者の思惑は合致しメデタシメデタシとなる。完全離団になった。

昨日更に「高級格式北京飯店」で気が付いたことがある。インターネットが有料なのだ。1分2元、一日では120元(約1,500円)だそうだ。中国では相当高い。結局これは4日分フルに払うことになりそうだ。ちなみに定宿のビジネスホテルも、前回のツアー高級ホテルの「京広飯店」も無料だった。まさか、ネットだけで4日間480元(約6,000円)も払うはめになるとは思わなかった。

さて、離団したからにはこっちのものだ。腰痛は都合よく消える。息子のお目当てのパクリ遊園地こと「石景山遊園地」に行く。地下鉄で約30分、前は2月の真冬で客はほとんどいなかったが、今回は、日曜日で天気も良いので家族連れが多い。肝心のパクリグッズ「日本のキャラクタ模倣品」は売っていなかったというより、土産物屋が無かった。きっとコンプライアンスがうるさくなったのだろう。息子はがっかりだが致し方ない。それでも、パクリ展示物の写真を沢山撮ってご満悦だ。私にも良く説明してくれる。



街中の看板；台湾は中国領土



キティちゃんもどき？



ピカチュウ？

携帯電話番号を買った。前回までのものは、チャージの有効期限切れで失効していたので、中国国内用に番号を買ったのだ。今回限りの使用となる。街中で通話費30元が付いて50元だ。簡単に身分証も必要なく携帯番号が買えてしまうのだ。フリーなので息子のペースで動く。本屋で買いたかった本を買う。

夜は旧友と3人でペキンダックを食べ、食後息子をホテルに送って、友人と私の以前の店のカラオケスナックに行った。(息子はカラオケが嫌いなのです。)楽しかった。